

第1回 米子市美保中学校区開校準備委員会議事録（概要）

日 時 令和5年11月7日（火）午後2時00分

場 所 米子市福祉健康総合センター（ふれあいの里）4階中会議室

アドバイザー

吉田 博幸

出席した委員の氏名

村瀬 豊、安本 淳一、岡田 隆、西井 通、田邊 忠雄、木村 仁志、
畔上 守、安藤 幸枝、曾根 大二朗、田中 翔大、安達 庸、小谷 斉、
河本 里美、笠井 和観、福田 哲周、石田 江美子、亀尾 祐子、水野 淑江

説明のために出席した職員の職氏名

教育長	浦林 実
教育員会事務局長兼こども政策課長	長谷川 和秀
教育委員会事務局次長兼学校教育課長	西村 健吾
こども政策課課長補佐	遠藤 幸子
こども政策課係長	松井 雅之
こども政策課主任	松下 貴洋
こども政策課主事	名原 裕紀
こども政策課課長補佐	永榮 一博
こども政策課課長補佐	長門 美香
こども政策課主任	永見 鴻志
学校教育課担当課長補佐	波多野 健司

出席した関係者

こども施設課係長	安田 諒介
こども支援課担当課長補佐	植田 典子

開会 午後2時00分

1 委嘱状交付

2 教育長あいさつ

3 開校準備委員会設置要綱確認

4 委員長・副委員長の選出

5 事務局説明

- (1) 義務教育学校整備事業の進捗と開校準備委員会開催の経緯
- (2) 開校準備委員会について
- (3) 基本構想（案）について

6 質疑応答・意見聴取、アドバイザーの助言

委員 これまでの懇談会や説明会の参加人数が少なく、住民に伝わっているかが不安です。今後、懇談会や説明会をされる際は、PTAの会合などに直接行かれて、参加人数を増やすようにしてもらいたいと感じました。

事務局 おっしゃる通り参加人数は少ないです。今、校長先生方とお話ししておりますが、3学期の参観日のあとにお邪魔して少しお時間をいただくよう設定をさせていただこうと予定しているところです。引き続き、地域住民、保護者の皆様向けの会の開催も工夫していきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

委員 部会の意見等については、集約されて開校準備委員会にも来るのでしょうか。

事務局 それぞれの部会で協議いただきました内容につきましては、7名の方に兼務をお願いしたいと考えているのですが、その方々を通じて開校準備委員会にも共有していただきたいと思います。

委員 自転車置場はどこになるのでしょうか。また、車と自転車の動線を分けたほうが良いと思います。

事務局 駐輪場については、米川沿いがよいのか、市道側がよいのか、または両方に置いた方がよいのかを考えていきたいと思っております。先ほどおっしゃられたように、車の動線と自転車の動線が重ならないように考えていきたいと思っています。

委員 大山が見える環境で学習させたいということになりますと、L字形の建物のほうが全教室から大山が見えるのではないのでしょうか。

事務局 校舎の位置がまっすぐになっているのと、L字形を例としていますが、この幅 180m と非常に長いです。普段子どもたちが生活する普通教室は南向きの大山が見える側にして、和崎かけはし通り側に音楽室ですとか、理科室などの特別教室を配置する工夫ができるのではないかと考えております。

委員 ユニバーサルデザイン、脱炭素社会の実現を目指した学校施設とありますが、子どもの成長過程において、木のぬくもりややすらぎが子どもの心の成長にいいということから、木をふんだんに使ってはどうかと考えていますが、基本構想の中で施設についてそういった内容も含まれているのかどうかとか、どういうイメージなのかをお聞きしたいと思います。

事務局 先進事例でも木のぬくもりを大事にするというコンセプトで建てられているところもあると思います。現在のところ「木をふんだんに使用する」などは基本構想に含まれておりませんが、今後話し合いを進めて行ければと思います。市として脱炭素社会の実現を目指していく中で、新しい学校を作る際には、そういった要素も含めていきたいということで、資料に記載しております。

委員 資料 59 ページのサンプル A と B の大グラウンドの大きさが違うように思いますが、グラウンドの大きさの定義はあるのでしょうか。駐車場についても A と B で違うように感じます。

事務局 サンプル A と B について、まだ細かくサイズについて補正をしたものではございません。グラウンドのサイズにつきましては、真ん中の円がトラックになっていまして、これが多少南北にずれることもありますし、必ずこのグラウンドサイズでないといけないものでもございません。今後、施設の配置計画を考えていく中で、デッドスペースの活用や構内動線も含めて考えながら進めていきたいと考えております。

駐車場の場所についても、サンプル A と B で止められる台数が違うのではないかと話がありましたが、100 台止められる想定でスペースをとっていきたいと考えております。駐車スペースが 2 カ所に分かれている方がいいのか、1 カ所に集約してしまった方がいいのか、ご意見をもらえたらという考えでございます。

委員 資料を見るとバスも入るということですが、駐車場にバスが入った場合、他の車や自転車と動線が重ならないか心配ですが、いかがでしょうか。
こども園が米川側にあると日当たりもどうかと思います。

子どもたちには、太陽の光をたくさん浴びて、元気に育てほしいという思いがありますが、園舎が米川側にあると暗いのではないのでしょうか。

事務局 ワークショップをしていく中で、バスや日照についてもご意見をいただいています。バスについて、我々としては動線を一番大事に考えていて、徒歩・自転車・バス・車動線がぶつからないようにする、ぶつかるとしても、最大限安全に配慮していくことを一番に考えております。例えば、和崎かけはし通り沿いでバスを回すことを意識して、職員の駐車場を端に寄せるですとか、敷地内に児童生徒用の進入路を作って、バス・車動線とぶつからないように配慮していきたいと考えています。0 から 15 歳までの幅広い年齢の子どもたちが通うことになりまして、今までの学校よりも、教職員数が多くなりますので、十分に配慮していきたいと考えております。

事務局 駐車場につきましても、今回お示ししている P1 とか P2 が一つの塊になっていますが、フェンスなどで分けるなどの工夫もできると思います。ワークショップの中では、動線のシミュレーションをする中で、ご意見をいただいております。

こども園につきましても、建物の向きを少し変えると日当たりがよくなるのではないかと、位置を変えてみたらどうかなど検討しております。それらをまとめた事務局案を次回の開校準備委員会までにご提示できればと思っております。

委員 どういう子どもたちを育てたいかによってカリキュラムが決まってくると思います。例えば、外国語教育の充実というのがありますが、通常の教育課程の中でやっていくのか、独自のカリキュラムになるのか、いずれ話し合っていく必要があると感じました。

現在、ハード面の方が先行して進んでいると思いますが、子どもたちにどんなことをさせたいかによって、どんな施設が必要かということが見えてくると思います。そのときにもう変更がきかないところまでハード面が進んでいることは避けるべきで、ソフト面とハード面の動きを連動させて考えていくことが必要です。今後、ソフト面も早く進めていかなければいけない面もあるのではないかと感じます。

委員長

ご意見ありがとうございました。設備等は形あるものを作って行くのにあわせて、どういうふうに子どもたちを育てて行くのかという議論も大事ではないかという提案だったと思います。

本日は、第1回目ということで、資料もたくさんありましたし、まだまだ消化できていない部分もあるかもしれませんが、この会は2回目、3回目と続いて参ります。事務局から基本構想（案）は、早くいただけると聞いていますので、受け取られたらそれぞれの立場でご意見等まとめて次回ご参加いただければと思います。ここにいらっしゃる皆様はそれぞれの代表で来ていらっしゃると思います。地域やPTAの方でしたら、いろいろな活動の中で話題にさせていただいて、できる範囲で意見を集約いただきたい。学校現場は、職員の声を受けていただきながら、幅広い意見を集約して基本構想を作っていきたいと思います。最後に、アドバイザーからご意見をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

アドバイザー

皆さんの熱心なご意見、ご要望を聞かせていただいて、素晴らしい学校ができそうな感じがしました。4つの学校を統合し、義務教育学校を整備することが決まって、いよいよ中身を構築していくということで、今日、開校準備委員会が立ち上がりました。

本日は、第1回目ということもあって、委員の皆さんの顔合わせと、基本構想（案）についての説明がありました。委員の皆さんからいくつかのご要望やご意見があって、令和10年の開校まで5年、時間をしっかり取って検討できるのではないかと感じています。鳥取市では、4つの義務教育学校がありますが、既存の施設を再整備して義務教育学校になったものです。ということは、この学校が県内初の新築の義務教育学校になるということだと思います。米子市の勢いと教育に対する期待の大きさを感じます。限られた予算の中で、何ができて何ができないのかということをしっかり見極めていきたいと思います。子どもたちにとって、何が最適なのか、様々な立場の方がいらっしゃいますので、美保中学校区の子どものための未来のために、ひいては美保地区に住まわれている皆さんの未来のために、この場でいい話し合いができればと思っております。

そして、教育委員会が毎月話し合ったことを地域住民に広報しているというのは、すごいことだと思います。やはり、地域住民の理解や協力がないと事業は進んでいかないと思います。地域全体で素晴らしい学校を作って行きたいと思います。本当に今日はお疲れ様でした。これからさらにいい話し合いをしていきましょう。ありがとうございました。

事務局

これもちまして、第1回米子市美保中学校区義務教育学校開校準備委員会を終了いたします。

閉会 午後3時10分